

# AAA 25<sup>th</sup> Case Study Club

## カテだけじゃない、 PAD治療を効果的にするリハビリについて

2022年5月吉日  
代表理事 大浦紀彦

今回Act Against Amputationの症例検討会case study clubを6月2日19時からzoomにて開催いたします。

末梢動脈疾患に対するリハビリの有効性に関するエビデンスはありますが、中々リハビリに繋がられている施設が少ない現状です。今回は、「血管診療を専門としたコメディカルが行うPADの臨床について」取り上げます。血管診療技師（Clinical Vascular Technologists:CVT）とは、2006年よりコメディカルとして脈管領域の診療に従事するための知識や技術を持った専門家として生まれました。血管疾患を専門とした、CVTが普段どのように、治療効果を高めるために、臨床検査技師が血流検査の工夫をしているか、理学療法士が血流評価をしながらカテーテルやバイパス術後の歩行やADLを維持する取り組みを行っているかについて、症例を通してそれぞれの職種にお話をいただきます。コメディカルの立場から末梢血管治療の話を知る貴重な機会ですので、血管治療の一助に繋がればと思います。是非ご視聴ください。

開催日時：2022年**6月2日**(木) 19:00-21:00

参加費 無料

1. PAD患者の評価について（CVT検査技師の立場で）  
水戸済生会病院 宮田 忠明 先生（臨床検査技師）
2. PAD患者の効果評価をどうしてるか？（CVT理学療法士の立場で）  
春日部中央総合病院 榊 聡子 先生
3. PAD患者の効果的なトレーニングについて  
獨協日光医療センター 江原 恭介 先生（リハビリ）

参加申し込みは右QRコード  
または下記URLより登録してください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/  
WN\\_v9GM-oBrTlin3sIsdLO\\_aQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_v9GM-oBrTlin3sIsdLO_aQ)



[Theater - Act against Pressure Injury](#)

